

近現代美術に関する交流史的研究 (①企03-12-2/5)

目 的

日本を含む東アジア諸地域における近現代美術の研究資料の収集、整理、調査研究を行うとともに、その交流を明らかにする有効な視点と調査研究方法の開発を目指す。また、多様化する我国の現代美術の動向に関する調査研究を行い、基礎資料を作成する。

成 果

1. 東アジア諸地域の近現代美術の研究資料収集、整理
 - (1) 黒田清輝宛書簡のデジタル画像作成を進めた（一部科研）。また上記資料のうち小川一真書簡（7通）について、2012年10月22日、2013年3月5日に研究協議会を開催した。出席者は岡塚章子（東京都江戸東京博物館）、斎藤洋一（松戸市戸定歴史館）、田中淳。
 - (2) 黒田清輝《花》（個人蔵）の調査を行った。
 - (3) 台湾の洋画家陳澄波の作品調査を進め、また白適銘氏（国立台湾師範大学准教授）を招聘し、第46回オープンレクチャーにて講演「上野モダンから近代文化体験へー陳澄波が出会った近代日本」を行った。
2. 我国の現代美術の動向に関する調査研究
 - (1) 笹木繁男主宰現代美術資料センター寄贈資料の整理・調査を進めた。
 - (2) 当研究所所蔵の画廊資料の画廊別による整理とカード化を行った。

論文

- ・山梨絵美子「陳澄波の画業に見る東アジア美術交流」『美術フォーラム21』26 pp.106-113 12.11
- ・山梨絵美子「陳澄波の裸体画の一特色ー日本のアカデミズム絵画との比較から」『阿里山之春 陳澄波與台湾美術史研究新論』pp.20-38、39-51 台湾国際創価学会 13.1
- ・山梨絵美子「東アジアの油彩画の中で高橋由一を考える」『視る』462 pp.2-5 13.2
- ・田中淳「木村莊八ーわたしは東京を呼吸してゐます」『生誕120周年記念 木村莊八展』図録 pp.10-18 東京ステーションギャラリー 13.3

発表

- ・山梨絵美子「川村清雄の油絵ー江戸絵画と西洋画の融合」川村清雄展特別レクチャー 江戸東京博物館 12.10.11
- ・山梨絵美子「徳川霊廟を描いた画家たち」第46回オープンレクチャー 東京文化財研究所 12.10.19
- ・丸川雄三「連想が結ぶ美術史の点と線ーアーカイブズから見えるもの」第46回オープンレクチャー 東京文化財研究所 12.10.20
- ・田中淳「1912年10月20日・上野・美術」第46回オープンレクチャー 東京文化財研究所 12.10.20
- ・田中淳「Futurism dayー木村莊八の1912年」日本における未来派100年記念シンポジウム 東京都現代美術館 12.11.17
- ・塩谷純「大正期の日本画ー再興日本美術院を中心に」江東区森下文化センター平成24年度後期講座 13.2.2

刊行物

- ・田中淳『太陽と「仁丹」 1912年の自画像群・そしてアジアのなかの「仁丹」』ブリュッケ 12.12

研究組織

○塩谷純、田中淳、山梨絵美子、城野誠治、鳥光美佳子（以上、企画情報部）、三上豊、丸川雄三（以上、客員研究員）